

浜松市議会議員

田口 章

後援会
だより

お気軽にどうぞ
昼 053 - 447 - 3820
夜 053 - 440 - 7100

平成 21 年 2 月 1 日

創ろう！元気な浜松

どうする？ 税収減への対応

2月議会 2/20 スタート 議案配布は 2/13 予定

マスコミでも報道されましたが、来年度(H21 年度)の浜松市の税収は、“法人市民税”を中心に、100 億円ほどの落ち込みを予想しています。

平成 20 年度の一般会計予算が 2668 億円、うち税収が約半分の 1372 億円でしたので、税収の 8%程度の減収となります。

みなさんのご家庭で、年収が 8%減ったら、あなたならどうしますか？考え方は大きく2つ。

「これまでと同じような生活を維持するため、借金に頼る」

「収入に見合った支出とし、生活を見直す」

これは浜松市に限ったことではなく、ほとんどの地方自治体は、今、同じような状況におかれています。

また、この状況は今年だけの話ではなく、1 年後には“個人市民税”の減収が追い討ちをかけることとなります(制度上そのような仕組みになっています)。



11 月議会の代表質問では、市長に「選択と集中」をお願いしました。2 月議会では、市長の施政方針と重点施策などが示されます。それに沿って、市全体のベクトルを一つに向けた予算になっているか、議会のチェック能力が試されます。今後の市政報道にご注目ください。

2 月定例会の主な予定

2月	会議名	会議の内容	3月	会議名	会議の内容
9(月)	常任委員会	報告事項など	2(月)	本会議	21 年度関係議案
13(金)	議運・全員協議会	議案配布	9(月)	本会議	代表質問
20(金)	本会議	20 年度関係議案 提案	10(火)	本会議	代表・一般質問
23(月)	常任委員会	同 審査	11(水)	本会議	一般質問
27(金)	本会議	同 採決	12(木)	常任委員会	21 年度関係議案 審査
		21 年度関係議案 提案	13(金)	常任委員会	同
		午前中です 市長施政方針	24(火)	本会議	同 採決

【1月の活動報告 2回の視察から】

議会閉会中の期間を使って、先行自治体の調査に行かせていただきました。

景気減速の影響から、企業では出張削減にも取り組んでいる中ですが、今後、市政の改善に反映すべく、調査内容をご報告します。

会派「市民クラブ」視察

所属会派「市民クラブ」では、会派の最大テーマである行財政改革の他、産業振興や中心市街地活性化の事例調査として下記の視察をおこないました。

和歌山市(1/20)「和歌山城整備計画」について



【丘上の和歌山城】

浜松では松菱跡地への大丸出店が白紙になってしまいましたが、将来の「元気な浜松」に向けた取り組みとして、中心市街地の魅力再構築は不可欠です。

こうした中、有力な手法のひとつが「浜松城公園」の再整備計画です。

そこでお城を活用した中心市街地活性化と、公園施設の再整備を進めている和歌山市を訪問しました。

和歌山城はかつて「国宝」に指定されていましたが、戦災で焼失し、現在のものは昭和33年に鉄筋コンクリート造で再建されました。平成8年に「和歌山城整備基金」を創設し、市民の寄付を受け入れ、現在、それを使いながら和歌山城の復元整備を行っています。

活性化の取り組みとして、昨年5月から11月にかけて、天守閣再建50周年記念事業として「城フェスタ08」を開催、市民参加による多数のイベントが開催されました。

行政は、和歌山城を中心市街地活性化のキーと考えていますが、それが市民の共通認識にもなっています。お城は市民にとって「市のシンボル」であり、深い愛着に支えられていると感じました。たとえば花や緑の市民ボランティアは言うに及ばず、お城の清掃も、民間企業(電気工事会社)や瓦業組合、そして自衛隊もボランティアで協力しているとのことでした。

浜松城の今後の公園整備については、天守閣の詳細な復元にこだわらず、市民協働や中心市街地活性化を視野に入れ、公園機能を重視した「セントラルパーク」としての魅力づくりが必要ではないでしょうか。

八尾市(1/21)「八尾市立病院のPFI事業」について

八尾市は、新たな公共経営手法である「PFI」手法を使い病院経営に取り組んでいます。そこで、病院事業経営への参考とすべく、また浜松でも新たに「新清掃工場・水泳場」にPFI事業が導入されたことから、PFI事業のチェック手法などについて調査しました。

八尾市立病院のPFI事業は、医業を除く管理運営業務で、平成16年から30年までの15年間の総事業費が544億円と、直営の場合に比べ、約70億円程度の財政効果が見込まれています。また特徴として「総合医療情報システム」による、カルテ等の電子化に取り組んでいます。

事業者のチェックは「モニタリング」という手法で行われています。モニタリングには3段階あり、日常モニタリング(セルフモニタリング)、定期モニタリング、随時モニタリングを実施しています。

は、SPC(事業会社)が、毎日行うもので、協力企業や受託企業を含め、サービス提供体制や業務履行状況を確認し、業務報告書を作成、市に提出するというもの。

は、市職員とSPC職員が、毎月定期的に、事業評価委員会を行い、各業務が要求水準を満たしているかどうかを確認・評価し、必要に応じて改善勧告・命令を行うというもの。

は、市が、随時、SPCに報告を求め、必要に応じ現場監察を実施するというものです。

また、市は年4回の支払い月に「モニタリング委員会」を開催し、改善勧告・命令などの対応などを踏まえ、支払い額を減額することもあるそうです。

自治体病院の経営改善は行政の大きな課題の一つです。浜松市では「リハビリテーション病院」は「聖隷福祉事業団」を指定管理者として事業委託し、「医療センター」は平成22年4月から「地方独立行政法人」に運営移管することになっています。こうした調査を活かし、医療の経営改善に資していきます。

堺市(1/22)「産業振興策」について

堺市は人口83万人、製造品出荷額2兆7300億円(浜松2兆8500億円)と似ている点があります。新日鉄堺の跡地へのシャープの工場誘致をきっかけに、臨海部(堺浜)を中心に新たな産業振興策を進めています。

今後、電機メーカーや化学メーカーの「液晶技術」を核に、大阪湾エリアを世界的な「パネルベイ」にすべく、堺・大阪・尼崎・姫路の4市で連携をとっていくということでした。

産業将来像は「環境」がキーワード。今年1月「環境モデル都市」の認定を受け、「クールシティ・堺」を推進するため、産業振興においても、省エネ型製品の生産拡大を始め、太陽光エネルギーの活用(太陽光発電所)や、バイオエタノールの開発、そして環境先進型コンビナートの形成を進めるとしています。

このほか、堺市に立地する企業では、燃料電池や水素エネルギーの開発も進めているということで、今後の自動車産業への影響もありそうです。「環境」を踏まえた産業のあり方に、時代の先取りを感じさせます。

「堺はものすごいスピードで変わりつつある」。そんな驚きを感じました。

「若手議員の会」視察

若手議員の有志では、会派を超えた視察を行っており、昨年度は「病院改革(川崎市)」と「航空自衛隊基地の民間共用(茨城県)」を調査しました。

会派は考え方の近いメンバーで視察をおこないますが、こちらは視点の違いも参考になります。今年度は下記の調査をおこないましたのでご報告します。

岐阜市(1/27)「上下水道の新たな取り組み」について

鏡岩配水地

岐阜市の水道は、長良川の伏流水や井戸からの汲み上げ水を利用しています。濁りがないためる過の必要がなく、塩素滅菌だけでキレイでおいしい水を供給できるということです。ちなみに岐阜市上下水道部では、天然水のペットボトル販売を行っています。



【トンネルの配水管】

視察した「鏡岩配水地」は、岐阜城の立つ金華山の岩盤にトンネルを掘り、設置してあるため、景観への配慮と耐震性に優れています。(平成13年竣工。工費33.4億円。2万トン(8時間分)を貯留)

紫外線処理の導入

岐阜市は上記のとおりろ過施設を持っていません。近年、塩素滅菌に耐性を持つ原虫の存在が危惧されており、対応するために紫外線処理を導入。平成21~22年度に建設し、23年度から処理を開始する計画となっています。

浜松では、浄水場でろ過を行っており、適切な処理を行えば工程内で処理できるとされていますが、中山間地にはさまざまな飲料供給施設がありますので、検証が必要です。

下水汚泥からの“リン”の回収

岐阜市の下水汚泥再利用の歴史は古く、すでに昭和18年にはメタンガスを抽出し市営バスの燃料として利用していたとのこと。

汚泥中のリンに着目したのは平成15年度で、産学官の共同研究をスタート。平成20年度にリンの回収技術が国庫事業として採択され、来年度には施設が稼働する計画です。

折しも輸入リンの価格高騰で、昨年夏から肥料価格が高騰しており、こうしたことから、この取り組みは注目を集めています。

浜松の汚泥処理は、焼却灰をセメント原料として利用している他、たい肥化も進めています。さらに2月の新清掃工場稼働後は、熔融スラグとして建築資材への活用などを検討していますが、新たな可能性の検討を進めていく必要がありそうです。

また、「お役所仕事」などと酷評されることのある行政の仕事ですが、視点を変え、発想を変えることで、新たな事業ができる好事例です。

行政の「発想の転換」を進めていきます。

福井市(1/28)「まちづくり」について

景観行政

福井市の景観形成の取り組みは浜松市の取り組みとほとんど同じような内容でした。

興味深かったのは、「景観づくり地域団体」への支援です。平成3年から6団体が認定されており、地域の景観を自発的につくっていくという活動をしています(聞き違いでなければ、5年間、年100万円を限度に支援しているとのことでした)。都心においても、電線の地中化や桜の小道など、地域団体が自発的に勉強会を開いて「歩いて楽しめるまち」を創っています。

住民主体のまちづくり(誇りと夢・わがまち創造事業)

福井市の市民協働は平成6年からスタートしています。当初は「住民参加のまちづくり」でしたが、今は「住民主体」になったとのこと。

「地域によって活動に差がある」との課題もあるようですが、「地域連帯意識」や、「自分たちのことは自分たちでやる」という「自治意識」の高揚、「地域活性化資源の発見・創出」、「地域の活性化」、「人材育成」などの効果など、一定の成果が出ているようです。

福井市の市民協働は、地域を主体に展開し、NPOや学生ボランティアに幅を広げたようです。専門知識を有するNPOのみならず、市民生活基盤の「地域」のタテ・ヨコをクロスした協働が必要ではないか・・・と感じました。



【三ヶ日駅でレールに乗るDMV】

DMV(デュアル・モード・ヴィークル)を見に、天竜浜名湖鉄道の三ヶ日駅へ。子どもよりも私のほうが喜んで見えていました。

私は子どもの頃から「乗り物好き」で、それが高じて今の会社に入ったようなものです。幼稚園時代の将来の夢は「タクシーの運転手さん」と「自衛隊」でした・・・^^

【レイクサイドウェイを走る DMV (撮影は子ども)】



税金を投入していますので、公共交通機関としてのあり方をしっかり検討していかねばなりません。

これも含めた市全域の「交通政策」は、都市部から中山間地までをあわせ持つ浜松の大きな課題のひとつです。

浜松市は平成 21 年度に「総合交通マスタープラン」を策定します。他都市に例のない「総合交通政策」を考えることとなります。

最新の記事はコチラからどうぞ！

創ろう！元気な浜松 【浜松市議会議員 田口 章】

<http://taguchi-hamamatsu.cocolog-nifty.com/blog/>

【編集後記】 1 月中旬、名古屋と浜松のプラネタリウムに行きました。とりわけ浜松科学館のプラネタリウムはすばらしかったですよ。都会のオアシスといったところでしょうか。詳しくは 1/16・17 付のブログに書いてありますのでぜひご覧ください。オアシスで休んだところで、2 月議会のスタートです。来年度の予算編成の重要な審議ですので、方向性をしっかりチェックしたいと思います。(章)

1 月の活動報告

- 04(日) 入野地区自主防出初式
- 07(水) 賀詞交歓会
連合議員団会議
- 09(金) 入野地区自治会長会議
- 10(土) 浜松市出初式
- 11(日) 入野地区成人式
- 18(日) さくま新そばまつり
- 19(月) 建設委員会
- 20(火) 市民クラブ視察
~ 22(木) (和歌山・八尾・堺)
- 23(金) 大平台小学校研究発表会
- 24(土) 斉木武志を支える会幹事会
- 25(日) 入野公民館まつり
多文化共生フォーラム
スズキ労組支部委員研修会
- 26(月) 福津農園(有機農場)視察
- 27(火) 若手議員の会視察
~ 28(水) (岐阜・福井)
- 30(金) 行財政改革推進特別委員会

2 月の活動予定

- 01(日) 浜松西政経フォーラム総会
- 02(月) 至誠会勉強会
- 03(火) 入っ子まつり(入野小学校)
スズキ労連中央委員会
- 05(木) 多文化共生勉強会
- 07(土) 新水泳場・清掃工場竣工式
都市問題公開講座(東京)
- 08(日) 西区まつり
スズキ労組中央委員会
- 09(月) 建設委員会
- 10(火) 三遠南信議員総会
- 11(水) 建国記念の日式典
- 13(金) 全員協議会(議案配布)
- 14(土) ~ 15(日)
自治政策特別講座(東京)
- 20(金) 本会議(初日)
- 22(日) 入野地区組発会式
- 23(月) 建設委員会
- 24(火) 連合浜松意見交換会
~ 25(水) 自治体監査研修(大阪)
- 26(木) 斉木武志を支える会
- 27(金) 本会議 議案説明会
- 28(土) 健全育成会総会